

1. 本県周辺海域の概況(7/11現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・暖水塊が三陸北部沖合域に分布しています。金華山沿岸域には強く暖水が波及しています。そのため、東北から常磐海域の海面付近の水温は「平年並み～高め」となっています(気象庁発表)。
- ・黒潮の流型はN型(直進流路)です。流路は房総半島を東北東方向へ流れ、北緯36度20分、東経144度まで北上していると推測されます。

2. 海洋観測結果(7/5～7/8:いばらき丸)

- ・水温を図2～図5に、水温前月差を図6～図7に、平年偏差を図8～図9に、塩分濃度を図10に示しました。
- ・沿岸域を中心に水温躍層(上下の水温差が大きい)がみられました(図11)。前月と比べると北部海域の海面付近や沖合域を中心にして昇温しました(図12)。一方で、南部海域では広く降温しました(図13)平年と比べると、鹿島以北では概ね「平年並み～高め」(図14)、犬吠埼沖は「低め」となりました(図15)。
- ・沿岸域の流れは真潮と逆潮が複雑に流れていました。沖合域にはやや強い北上流がみられました(図16)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮の流型はN型からC型基調に徐々に変化するでしょう。
- ・黒潮は現在よりも接岸して南部沖合域には影響があるでしょう。ただし、犬吠埼以北の流路が安定的に推移すると見込まれるため、沿岸域への暖水波及は弱めで推移するでしょう。親潮系冷水の影響も弱いでしょう。
- ・気温の上昇によって海面付近の水温は上昇するでしょう。一方で、下層は現状並みで推移するでしょう。上層と下層の間に強い水温躍層が形成されるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸域は概ね「平年並み～高め」で推移するでしょう。

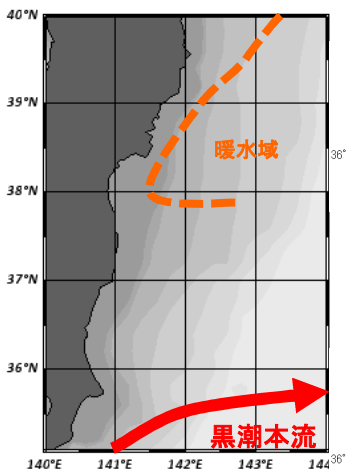


図1 海況の概要

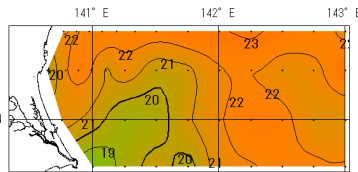


図2 海面水温(°C)

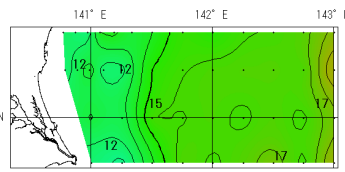


図3 50m深水温(°C)

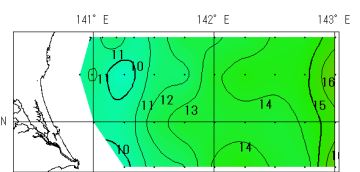


図4 100m深水温(°C)

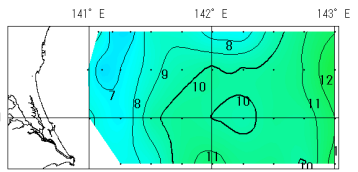


図5 200m深水温(°C)

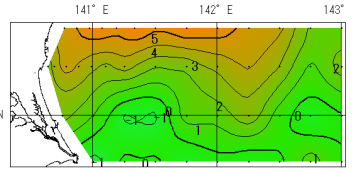


図6 海面水温前月差(°C)

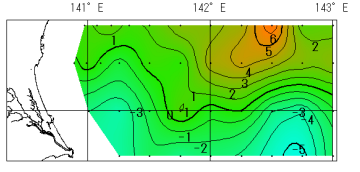


図7 100m深水温前月差(°C)

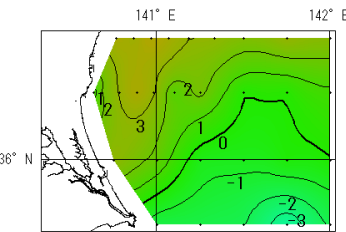


図8 海面水温偏差(°C)

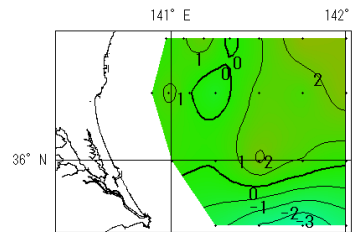


図9 100m深水温偏差(°C)

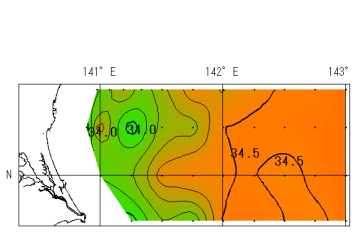


図10 100m深塩分(PSU)

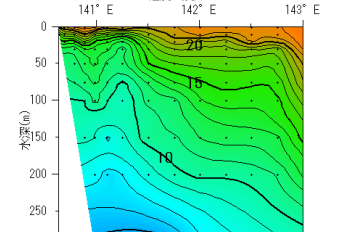


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

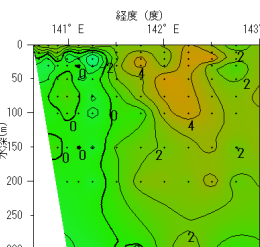


図12 大洗沖鉛直水温前月差

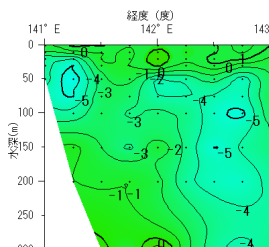


図13 犬吠埼沖鉛直水温前月差

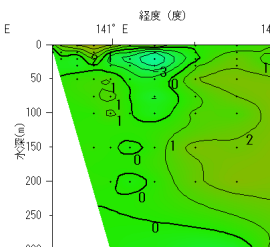


図14 大洗沖鉛直水温偏差

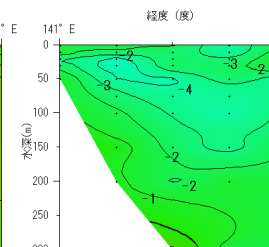


図15 犬吠埼沖鉛直水温偏差

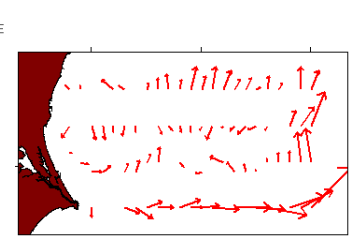


図16 水深20mの流向流速